

あんぜん



あんしん

温風循環式温乳器

ミルオン

Mil-on

— K-1・K-2取扱説明書 —

※ご使用になる前に必ずお読みください。

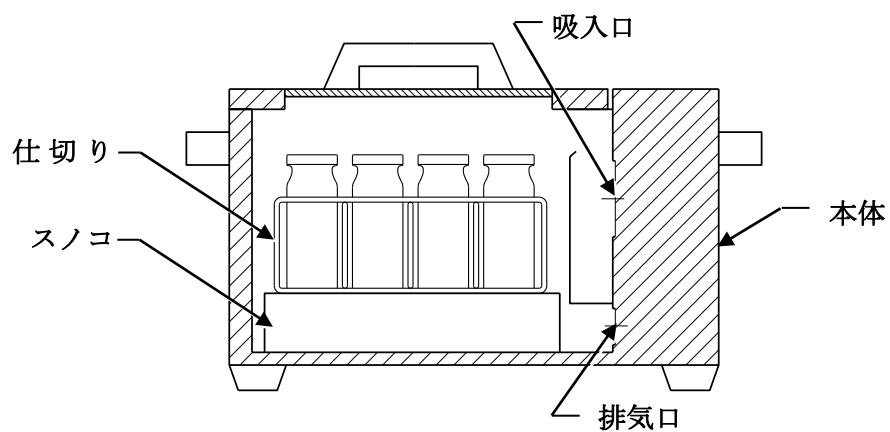
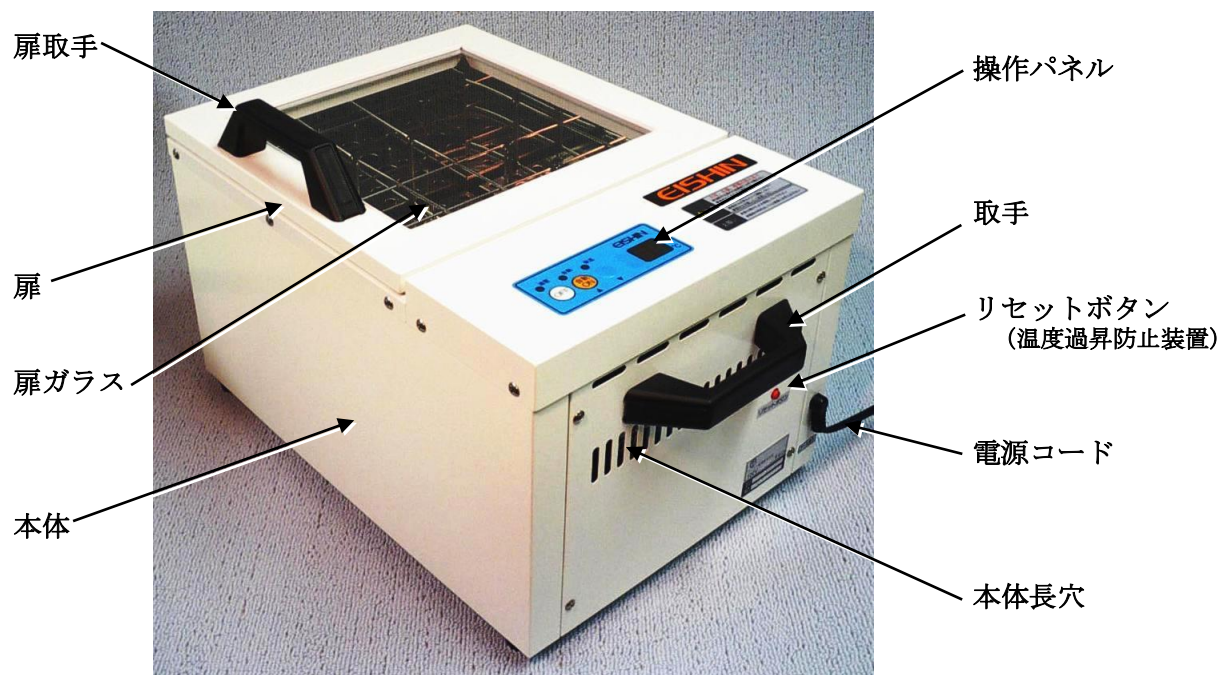


エイシン電機株式会社

目次

各部の名称	P 2
安全上のご注意	P 3 ~ P 6
ご使用の手引き	P 7
A. 連続保温での操作方法	P 8
B. 早期加温での操作方法	P 9
その他のご注意／保温設定温度の変更方法	P 1 0
温乳器の清掃／殺菌運転の方法	P 1 1
修理を依頼される前に	P 1 2
アフターサービスについて	P 1 3
仕 様	P 1 4

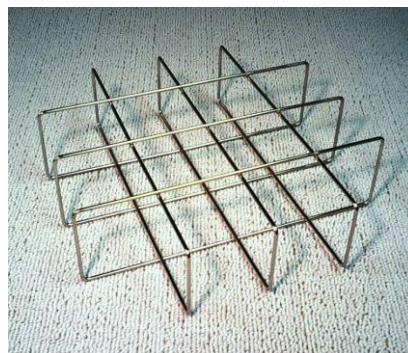
各部の名称



付属品



スノコ





仕切り

安全上のご注意 1


ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読み頂き正しくお使いください。ここに示した注意事項は、ご購入の製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を防止する為のものです。


その内容により「警告」と「注意」に区分してあります。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


表示の意味は次のようになっております。

 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しております。







図記号の意味

 「警告」や「注意」を促す事項を表します。

 「禁止」を表します。

 「強制」(必ず行う事)を表します。











警告

<p>温乳器として使用する。</p> <p> 冷蔵庫等に保管してある母乳を加温する機器としてご使用ください。保温器として使用すると、母乳の変質、および菌の繁殖の原因になります。</p>	<p>母乳を長時間保温しない。</p> <p> 母乳を長時間保温しないでください。母乳の変質、および菌の繁殖の原因になります。</p>
<p>哺乳瓶を詰め込まない。</p> <p> 仕切りを外し、温乳器内に哺乳瓶を詰め込まないでください。母乳が均等に温まらない恐れがあります。</p>	<p>温乳器内に可燃物を入れない。</p> <p> 温乳器内に可燃物を入れて使用しないでください。発火、爆発の原因になります。</p>
<p>温乳器に水をかけない。</p> <p> 温乳器に水をかけないでください。清掃の際の水洗いはショート、感電、漏電等の原因になります。</p>	<p>温乳器内に水を入れない。</p> <p> 温乳器は水を入れて使用するものではありません。温乳器内に直接水を注がないでください。感電・漏電・故障の原因になります。</p>

安全上のご注意 2






警告

漏電遮断器をつける。	屋外設置禁止。
 <p>本製品を接続するコンセントの電源ラインには漏電遮断器を必ず取り付けてください。漏電遮断器が無い場合には、感電や火災の原因になります。</p>	 <p>屋外で使用しないでください。 雨水のかかる場所でご使用になりますと漏電、感電の原因になります。</p>
分解禁止。	アース工事を確実に行う。
 <p>修理技術者、専門者以外の方は絶対に分解したり、修理や改造を行わないでください。</p>	 <p>アース工事を確実に行ってください。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。</p>
不安定な場所に置かない。	温乳器内の吸気口・排気口に手や物を入れない。
 <p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないでください。 転倒や落下などにより、ケガをする恐れがあります。</p>	 <p>温乳器内の吸気口・排気口に手や物を入れないでください。 ケガをする危険があります。 また、故障の原因にもなります。</p>
定格 15A・交流 100Vのコンセントを単独で使う。	電源コードを傷つけない。
 <p>他の機器と併用すると、発火による火災の原因になります。 延長コードも定格 15A のものを単独で使用してください。</p>	 <p>電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。 電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。</p>
濡れた手で電源プラグに触らない。	コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない。
 <p>濡れた手で電源プラグなどの電気部品にふれたり、スイッチの操作をしないでください。感電の原因になります。</p>	 <p>傷んだ電源コードや電源プラグ及び、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないでください。 感電、ショート、発火の原因になります。</p>

安全上のご注意 3












警告

熱い部分に触れない。	可燃性スプレー使用禁止。
 <p>使用中や使用直後の温乳器内壁面に触れないでください。 やけどの恐れがあります。</p>	 <p>可燃性スプレーを近くで使用したり可燃物を近くに置かないでください。 発火、爆発の原因になります。</p>
温度過昇防止装置が作動した時は。	電源プラグを持って抜く。
 <p>温度過昇防止装置が作動した時は、販売店または専門業者にご相談ください。 そのまま使用し続けると故障や火災の原因になります。</p>	 <p>電源プラグは、先端のプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して、発熱、火災の原因となることがあります。</p>
漏電遮断器の定期動作確認。	電源プラグの定期確認。
 <p>漏電遮断器は、定期的に動作確認をしてください。漏電遮断器を故障したままご使用になると、漏電の時作動せず、感電の原因になることがあります。</p>	 <p>電源プラグはホコリ、油等が付着していないか定期的に確認してください。接続が不完全であったり、汚れがひどい場合には火災や感電の原因になることがあります。</p>
他目的に、絶対に使用しない。	非常用コンセントには絶対に差し込まない。
 <p>他目的に、絶対に使用しないでください。 故障やトラブルの原因になります。</p>	 <p>非常用コンセントには絶対に差し込まないでください。</p>

安全上のご注意 4



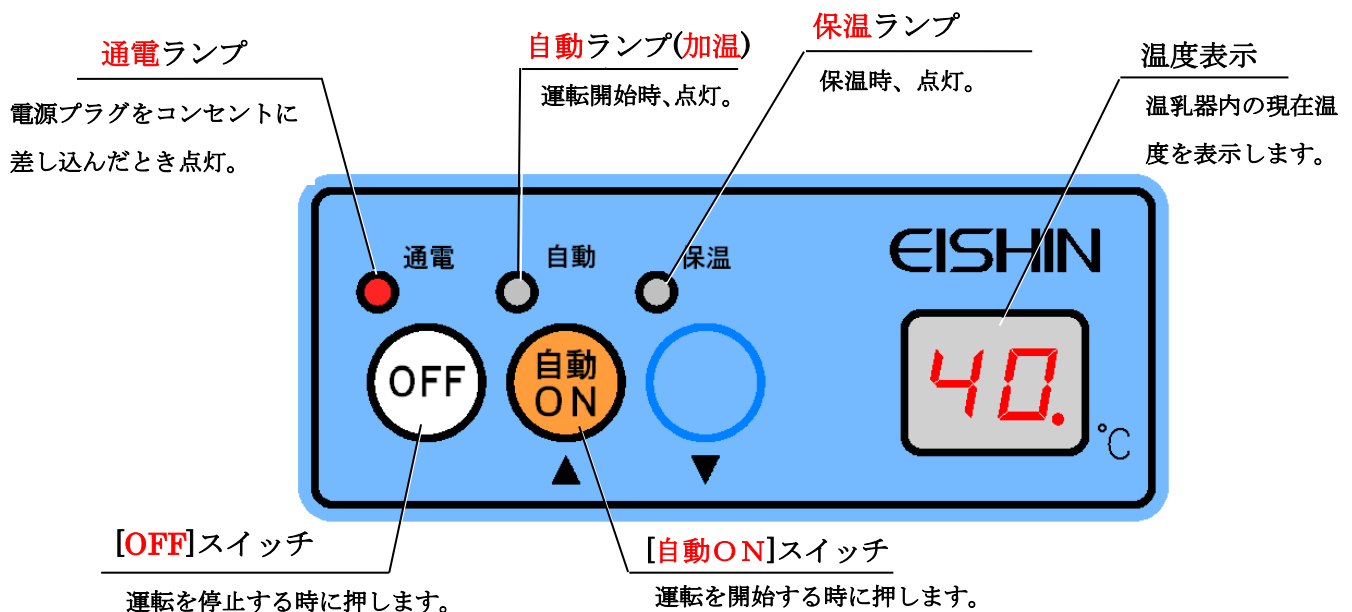
注意

<p>加温された母乳は、必ず適温の確認を行う。</p> <p>加温された母乳は、必ず適温の確認をしてから授乳してください。</p> <p></p>	<p>常に温乳器内を清潔に。</p> <p>常に温乳器内は清潔にしてください。母乳等が付着していると、雑菌の繁殖の原因になります。</p> <p></p>
<p>殺菌運転中は扉を触らない。</p> <p>殺菌運転中は扉(ガラス)が熱くなるため、直接手を触れないでください。やけどの恐れがあります。</p> <p></p>	<p>清掃する時は電源を切っている。</p> <p>清掃する時は、必ず機器停止後、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、温乳器内が充分冷めてから行ってください。</p> <p></p>
<p>運転中は電源プラグを抜かない。</p> <p>運転中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になります。</p> <p></p>	<p>扉の開閉は静かに。</p> <p>扉の開閉は静かに行ってください。母乳がこぼれる恐れがあります。</p> <p></p>
<p>長期間ご使用にならない時は。</p> <p>長期間ご使用にならない時は、機器のゴミ、ホコリを充分拭き取り、安全の為、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p></p>	<p>据え付けは周囲からすこしはなして。</p> <p>製品の周囲は10cm以上、上面は90cm以上隙間を開けて据え付けてください。</p> <p></p>
<p>アルミホイル、ラップ等は使用しない。</p> <p>アルミホイル、ラップ等は使用しないでください。強制循環ファンに吸い込まれると、故障の原因になります。</p> <p></p>	

ご使用の手引き

この度は、弊社の温乳器（M i l l - O n）をご購入頂き、大変有難うございます。
この製品の特性を生かし、末永くご使用頂くためにも、この手引書を必ずお読みくださるようお願い申し上げます。

操作パネルの名称



この製品の基本的な使い方は次の2通りの方法があります。

- A. 連続保温は、授乳時間がまちまちで、取り出しと投入を繰り返して使用する場合。
- B. 早期加温は、量の多い哺乳瓶（100cc～200cc）を、短時間で加温したい場合。

工場出荷時の保温設定温度は 40°Cに設定してあります。これは、母乳を 36°C～39°Cの範囲に維持し、決して40°Cを超えることが無いようにマイコンでプログラム設定を行っています。（設定温度の変更は可能）後記

A. 連続保温での操作方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。通電ランプが点灯します。
2. 扉を開けて、スノコと仕切りを温乳器内に入れて、扉を閉めてください。
3. [自動ON]=運転開始スイッチを押してください。
自動ランプが点灯し、温乳器内の温度が表示され、強制循環ファンが勢い良くエアの攪拌を始めます。
4. 連続保温の場合は、[自動ON]スイッチを、約3秒間押し続けてください。
自動ランプから保温ランプに切り替わります。
※自動ランプが消灯し、保温ランプが点灯することを確認してください。
5. 扉を開けて、スノコの上に哺乳瓶を仕切りに沿って入れてください。
※スノコは必ず設置してご使用ください。
6. 扉を閉めて、後はマイコンにおまかせください。

※シリンジでも哺乳瓶でも自由に出し入れ出来ます。

※ [自動ON]スイッチを繰り返し押すことはしないでください。

※温乳器内に長時間の放置をしないでください。母乳の変質の恐れがあります。

※万一の感染予防のため、加温終了後は、直ちに授乳することをお勧めします。

参考

連続保温時の母乳加温時間

10cc は、36℃まで 約 15 分	80cc は、36℃まで 約 37 分
20cc は、36℃まで 約 25 分	100cc は、36℃まで 約 40 分
50cc は、36℃まで 約 30 分	200cc は、36℃まで 約 50 分

7. [OFF]=運転停止スイッチを押してください。
保温ランプが消え、温度表示も消えた状態で、強制循環ファンが温乳器内の冷却のため、約1分間動作後停止します。
※この間は電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になります。

B. 早期加温での操作方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。通電ランプが点灯します。
2. 扉を開けて、スノコと仕切りを温乳器内に入れてください。
3. スノコの上に哺乳瓶を仕切りに沿って入れて、扉を閉めてください。
※スノコは必ず設置してご使用ください。
4. [自動ON]=運転開始スイッチを押してください。
自動ランプが点灯し、温乳器内の温度が表示され、強制循環ファンが勢い良くエアーの攪拌を始めます。
後はマイコンにおまかせください。

※ [自動ON]スイッチを繰り返し押すことはしないでください。

※早期加温では 冷蔵庫に保管された 5℃～7℃の 100cc/200cc の母乳を中心に、短時間で 36℃～39℃に加温させるプログラム設定となっています。

(一時的に温乳器内の温度が 60℃程度に上がります)

※以下のことは母乳を温めすぎるので、行わないでください。

- ・量の少ない哺乳瓶やシリンジ等と一緒に入っていないこと。
- ・すでに加温済みの哺乳瓶やシリンジが入っていないこと。

※加温した哺乳瓶が残っている間は、保温運転を続けてください。

※温乳器内に長時間の放置をしないでください。母乳の変質の恐れがあります。

※万一の感染予防のため、加温終了後は、直ちに授乳することをお勧めします。

参考

早期加温時の母乳加温時間

100cc は、36℃まで 約 20 分
200cc は、36℃まで 約 35 分

上記時間が経過しても、36℃～39℃で維持しています。

5. [OFF]=運転停止スイッチを押してください。
保温ランプが消え、温度表示も消えた状態で、強制循環ファンが温乳器内の冷却のため、約 1 分間動作後停止します。
※この間は電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になります。

その他のご注意（下記の事項は必ず厳守願います。）

※加温された母乳は、必ず適温の確認を行ってから授乳してください。

（適温の確認は、手の甲などに保温した母乳を少量垂らして人肌程度の温度になっているか、温度が高くないか必ず確認をしてから授乳してください。）

※扉は必ず閉めてご使用ください。

（開けたままご使用されますと、温乳器内の温度が十分に上昇しません。また、温度も適温に保たれません。）

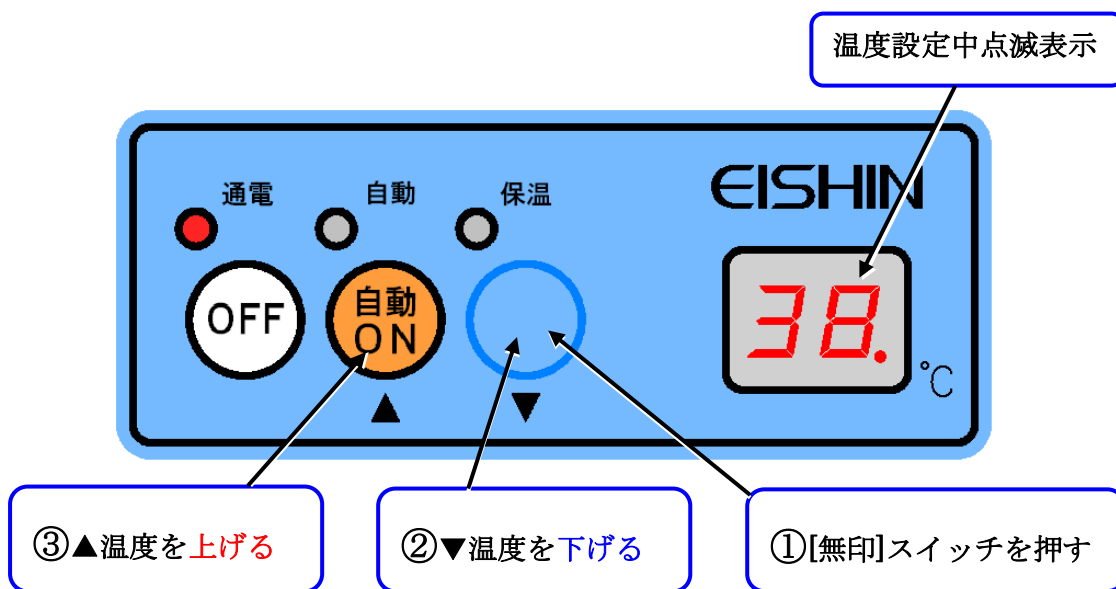
※温乳器に絶対に水を入れない。（運転・清掃など如何なる場合も厳禁）

この温乳器は水を入れて使用するものではありません。漏電・感電・故障の原因となりますので、充分ご注意ください。

（水を使用した場合の故障は、保証の対象外となります。予めご了承ください。）

※母乳をこぼした場合はすみやかに拭き取るようにしてください。

保温設定温度の変更方法



1. 保温設定温度を変更したい場合は、① [無印]スイッチを押す。
※温度設定中は温度表示が点滅します。
2. 設定温度を▼下げる場合は、② [無印]スイッチを押す。
※1℃単位で変更できます。
3. 設定温度を▲上げる場合は、③ [自動ON]スイッチを押す。

※いずれも設定変更後、3秒間放置すると、その温度が記憶され、温乳器内の現在温度の表示に変わります。これで、保温温度の変更が終わります。

※設定温度は30℃～45℃まで変更できますが、保温時の設定温度は41℃以上にしないようにご注意ください。

温乳器の清掃

1. 必ず[OFF]=運転停止スイッチを押して強制循環ファン停止後、安全のために電源プラグを抜いてから清掃作業を行ってください。
2. 清掃作業は、温乳器内の温度が充分下がってから行ってください。
3. 温乳器に水をかける等をして洗わないでください。
4. 清掃の際、酸、シンナー、クレンザー等は素材を傷めますのでご使用にならないでください。
5. 仕切り・スノコは温乳器内から取り出し、水洗いしてください。
6. 温乳器内ステンレス部分は、母乳等の汚れがついたままになっていると、雑菌の原因になります。中性洗剤を含ませた布で拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
7. 温乳器外装は、中性洗剤を含ませた布で拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。

殺菌運転の方法

1. 温乳器内の清掃を終えた後、[自動ON]=運転開始スイッチを押します。
2. [無印]スイッチを約8秒間押し続けてください。
通電ランプと自動ランプが点滅し、自動的に殺菌運転が始まります。
※この時、絶対に哺乳瓶やシリンジを入れて加温しないでください。
3. 85℃に達するのに10分も掛かりません。温度表示が85℃になると、通電ランプと保温ランプが点滅し、85℃を5分間維持して殺菌運転を行います。
4. 殺菌運転終了後は、保温ランプが消え、温度表示も消えた状態で、強制循環ファンが温乳器内の冷却のため、約1分間作動後停止します。

※殺菌運転直後に、次の作業（連続保温、早期加温）を行う時は、温乳器内を充分冷ましてからお使いください。万一、温乳器内が高温のまま、母乳の入った哺乳瓶やシリンジを加温すると、大切な母乳由来リパーゼが失活するだけでなく、母乳が吹きこぼれる可能性があります。充分ご注意願います。

殺菌運転直後の厳格な温度管理はお客様自身で責任を持ってください。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、次の事をお調べになってください。

症 状	原因と考えられる事
電源が入らない。 (通電ランプが点灯しない。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停電していませんか。 ・ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・ 漏電遮断器が働いていませんか。 ・ 屋内のコンセントが痛んで、電源プラグを差し込んでもゆるく、ガタガタになっていませんか。 ・ 温度過昇防止装置が働いていませんか。 (本体コントロール側の側面のリセットボタンを押す。)
温度が上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 扉が確実に閉まっていますか。 ・ 温度設定が適正ですか。 ・ 仕切りを外し、哺乳瓶を詰め込みすぎではありませんか。 ・ スノコを温乳器内に入れてありますか。

デジタル表示	説明	対処方法
L L	室内温度が低すぎる。	10℃以上のお部屋でご使用ください。
H H	温乳器内温度が 100℃を超えている。	エイシン電機株式会社または販売店まで、ご連絡ください。
E L	温度センサーが断線している。	
E H	温度センサーが短絡している。	
P H	制御基板の温度が高い。	
P L	基板内部センサー断線。	
P S	基板内部センサー短絡。	

以上をお確かめください。

アフターサービスについて

1. 保証について 保証書を別途添付しております。保証書は記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
2. 保証期間中の修理 保証書に記載のとおり、保証期間を設け、その記載内容により、お買上げ販売店が修理します。
3. 保証期間後の修理 保証期間後の修理については、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理致します。お買上げ販売店にご相談ください。
4. ご不明な場合 アフターサービスについてご不明な場合はお買上げ販売店、エイシン電機株式会社にお問い合わせください。
5. 修理を依頼される場合は
次の事をお調べの上、
お知らせください
 - ・製品の型式 保証書に記載
 - ・故障の状況
 - ・お買上げ日と製造番号

仕 様

型 式	K-1	K-2
寸法 (mm) 巾 x 奥行 x 高さ	W650 x D330 x H280 (取手を除く)	W460 x D330 x H280 (取手を除く)
電源・消費電力	100V 990W	100V 840W
温度調節器	マイコンデジタル制御 (30℃～45℃設定可)	マイコンデジタル制御 (30℃～45℃設定可)
安全装置	温度過昇防止装置 110℃	温度過昇防止装置 110℃
重 量 (kg)	18.5kg	14.5kg
容 量	哺乳瓶 200ccx28 本	哺乳瓶 200ccx16 本
付属品	・スノコ 1ヶ ・仕切り 1ヶ	・スノコ 1ヶ ・仕切り 1ヶ

◆本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のため、一部予告なく変更することがあります。

お客様ご相談窓口



適温を追求する

エイシン電機株式会社

◆本社 〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町 2-39-3
TEL : 045-332-3270
FAX : 045-331-6950